

赤間の名物 おばあちゃん

毎週火曜日、赤馬館の日替わり喫茶コーナーで働く場さん。赤馬館で最高齢にもかかわらず、いつも元気な場さん！そのエネルギーの源とは？



プロフィール

的場 清乃さん（82）
昭和9年3月21日
佐賀県佐賀市出身
赤間に来て約30年。
赤間のことはなんでも
知り尽くす地元の名物
おばあちゃん

佐賀から赤間へ

的場さんが赤間の街へやってきたのはおよそ30年前。結婚を機に福岡へ。気さくな性格もあって地域に馴染むのに時間はかからなかった。すると程なくして婦人会から声がかかり、それを機に教育委員や選挙管理委員などで地域に密接に関わるように。幾多の経験の中で特に思い出深い出来事は、宗像市が韓国の金海市と姉妹都市になる瞬間に立ち会えたこと。「宗像と金海市の最初の架け橋となった調印式に出れたことはいい思い出」と笑顔で語る。

元気の秘訣

喜んでくれる人の笑顔が
元気を与えてくれるの。

赤馬館の喫茶に、地域の防犯パトロールやイベント行事など、毎日元気に活動する场的さん。そのパワーの源について何うと「地域に私の出番があるということ、それと人の役に立っている実感が元気の秘訣かな。喜んでくれる人をみるとまたもりもりと元気が湧くの。」そして何より「楽しいと思える仕事をするのがイチバンよ」と、自身のこれまでの経験からくる仕事へのスタンスを教えてくれた。



きょんちゃんづけ
毎週火曜日に赤馬館の
御膳で提供しています。

【左】通学路に立って補導員をするのが平日の日課。元気な声で小学生に声をかける
【右】休みの日はイベント行事など大忙し。この日は、福岡教育大学の留学生向けにおはぎ・兜づくりを伝授。



きょんちゃんづけ

また食べに来てほしい
から売らないの。

赤間地区で知らない人はいない程有名なきょんちゃんづけ。40年ほど前、知人のニビシ醤油の方から習ったことがきっかけで作り始めた。宗像産の大豆を使用した醤油を使い、食材も全て宗像産で作られる。販売してほしいとの要望も強いが、赤馬館やイベントでしか食べることができない。その理由は「また食べに来て欲しいから。売ってしまうとそれで終わりになるけど、売っていないとまたここに食べに来るでしょ。」



AKAMAKAN-NEWS
赤馬館ニュース

赤馬館来館者

10万人達成！



祝10万人達成 あいさつ!!
宗像市東部観光拠点施設 街道の駅 赤馬館

宗像市東部観光拠点施設「街道の駅赤馬館」が開館して約1年5ヶ月。おかげさまで5月2日に、来館者数10万人を達成することができました。ラッキーな10万人目の方は大阪から来館された佐藤房子さま。花が好きで旅行ツアー企画にご参加。宗像大社から赤馬館のある赤間宿にいられました。10万人目の認定証をお渡しし、副賞として「沖ノ島朱の赤馬」をはじめ、宗像の特産品詰め合わせを贈呈しました。



たくさんの方に赤馬館に来て
いただけて感謝いたします。宗像の
観光情報発信基地のひとつとして
これからも頑張ってます！



AKAMAKAN-INFORMATION
赤馬館イベント

7月-8月イベント情報

ちょっと気楽に、もっと和 문화。



7/9 7/24

〔赤馬館主催イベント〕

マイ浴衣と半幅帯を使い、着られるようになろうという企画です。着付け体験プラス古民家でお抹茶立て体験のセット。

【時間】 午前の部10時～／午後の部13時半～
【場所】 赤馬館と萩尾邸
【人数】 10名(最少人数5名)
【参加費】 2500円

松崎佐奈恵マクロポエティーク展



7/20～ 8/21

〔赤馬館喫茶サロン〕

松崎氏の幻想的なマクロの世界観をお楽しみください。(無料)



Profile:

東京都生まれ、宗像市在住
総合病院の広報室で院内コンサートの企画や小冊子の編集を経て、現在フリーランス。独特な視点でジャンルを問わず撮影し、マクロレンズで撮影した作品は海外でも評価される。

赤馬 ギフト



川上農園みかんジュース

川上農園のみかんジュースの味は「みかんをそのまま飲んでいる」と表現するのがふさわしいほど、甘みがあり濃厚。生産するのは農園を背負って立つ30歳の川上さん。農業を極力使わないため、虫の駆除や除草などにかかる時間は計り知れない。そこまでして農業を使わないことにこだわるのは「なるべく自然に近い状態のものを味わってほしいと思っているので農業は極力使用していません。農業は人の体に良いものではないしあるがままの自然の姿ではない」との

川上さんの思いから。このジュースは2015年の1月から販売されているが、そのきっかけはみかんを廃棄させたくないとの思いから。「味は良くても形が悪かったり大きさが小さいと売れにくい。それらのみかんをなんとかして活用できないだろうか」使用するみかんは、温州みかん。年に1回佐賀の知り合いの所で絞るため生産できるのは年間800本のみ。よくあるみかんジュースに比べると値段は高価だが、この1本1本には生産者の思いが詰まっている。



みかんジュース生産者の川上さん

川上農園

福岡県宗像市大穂475
TEL: 0940-36-2713

<http://www.kawakami-nouen.com/>